

議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和4年7月26日（火）

会場名：救急薬品市民交流プラザ 1階研修室

参加者数：26名

出席議員：奈田委員長、不後副委員長、吉野委員、高畑委員、杉浦委員、西元委員、大垣委員

【記録者：大垣・西元】No 1

| 議会報告会での意見等 | |
|---|---|
| 質問、意見の要旨 | 議員回答の要旨 |
| <p>議会報告会の開催について、昨日の報告会の記事が新聞に掲載されていたものの、ほとんどの住民が知らないのではないかと。せっかくやるなら、周知徹底してほしい。小杉地区の住民で34,000人ほどいるので、本来なら大集会室で行う規模のものではないか。</p> | <p>今回の議会報告会について、周知が行き届いていなかったことは素直に申し訳なく思う。</p> <p>当初は議会全体でやっていたが、その後、常任委員会単位で、日時や会場をずらして開催しているという経緯がある。貴重なご意見として、今後議論していきたい。</p> <p>この件に関しては、広報委員会で話し合っており、各常任委員会の委員長が委員として加わっているため、ご指摘の点について、広報委員会に伝えておく。</p> |
| <p>議員定数削減について、今後取り組んでいくのか。</p> | <p>議員定数削減に関しては、審議していかなければいけない問題であり、継続的な課題として、引き続き協議していく。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> 本開発地区土地区画整理事業の活用について、産業建設常任委員会としてどのように対応していくのか。 昨日の報告会のテーマでもあった公共施設及び未利用市有地等に関する民間提案制度について、日常の利用方法など、議会としてどのように対応していくのか。 | <p>個人的な意見は申し上げることはできない中でお答えするならば、当局側から議案がまだ提出されていないのが現状だが、地元の意見等を取り入れて議論していく必要があると考える。</p> <p>また、民間提案制度については、当委員会が所管ではないので、お答えはいたしかねる。</p> |

| 議会報告会での意見等 | |
|--|---|
| 質問、意見の要旨 | 議員回答の要旨 |
| 1年間で常任委員会のメンバーは全員替わってしまうのか。 | 常任委員会のメンバーについては、概ね1年間で交代があり、毎年11月頃に改組されるが、希望を出すこともできるので、必ずしも全員が入れ替わるとは言い切れない。 |
| 森林組合で里山整備という話が出ているが、どこまで常任委員会として把握しているか教えてほしい。 | まだ話が出来ていないので、お答えはいたしかねる。 |
| 自主財源・依存財源の比率について、健全とされる数値の指標はあるのか。 | かつては「3割自治」という言葉のとおり、自主財源が3割で、残り7割の財源は依存というのが自治体の状況だと言われていたが、手元に資料を持ち合わせていないので、明確な返答はいたしかねる。 なお、本市では、相対的に合併前より改善している。 |
| ウクライナ問題があるので、食糧自給率を向上させ、農業を推進してほしい。 | 農業の推進については、市当局や議員各位も同じ思いであると認識しており、支援の一助となるような施策の審議に取り組んでまいりたい。 |
| 燃料費の高騰に苦しんでいるのは、農業者だけではなく、漁業者も同様であり、ご配慮いただきたい。 | 貴重なご意見として承り、市当局へ伝える。 |
| 例年1月～2月頃の商工会新春懇談会において、議長など出席の下で新年度予算要望を行っていたが、その頃には予算の大枠は決まっていることから、次年度の予算要望については、前倒して実施したいと考えているが、いかがか。 | 例年、11月頃に市長と議長へ要望書を提出した上で、年明けの1月に開催される新春懇談会において、その要望書を基に説明されていると記憶している。 予算編成のスケジュールに鑑みると、要望時期が前倒しされれば、編成に余裕ができることも期待されるなど、前倒しは構わないのではないかと考える。 |